

令和6年度 浜松市立河輪小学校 学校評価報告書

1 自己評価

自己評価結果及び考察

別紙「令和6年度浜松市立河輪小学校 学校評価アンケートに関する自己評価」のとおり

2 学校関係者評価

2月18日(火)に開催した学校運営協議会において、学校に関するアンケート結果をもとに、令和6年度の学校目標・グランドデザインの成果を検証し、学校としての自己評価結果及び考察、来年度に向けての改善案について委員に報告。委員からは以下のような意見があった。

- 「主体的に学ぶ子」に関する設問1～3の考察・改善案「主体的、対話的で深い学びを実現する授業改善をさらに充実」について、「子供たちが学習に一生懸命取り組んでいる様子を参観することができた。ぜひ基礎の反復練習をしっかりとやっていただいて、その学年の学びについては、その学年の間に理解できるよう、小学校で学ぶことはしっかり身に付け、中学校へ送り出していただきたい。」「タブレットで6年生が作っていたスライドは、仕事でも同じようなものを使うため、将来とても役立つ。上手にタブレットを使いこなしていると感心した。」「子供たちが『学びたい、知りたい、解きたい、伝えたい』という気持ちを育むよう先生方にも頑張っていただきたい。」との意見があった。
- 「みとめ合う子」に関する設問4～6の考察・改善案「よりよい人間関係を形成し、豊かな心を育む」について、「学校が楽しいことはとてもよいことである。登校中の元気な挨拶を見ていると、一年間の成長を感じる。」「学校が楽しいのにはレベルがある。目標に向かって頑張ることで達成感を感じ、充実した学校生活を送ってほしい。」「『そう思わない』と回答した人は、学校でなくてもできると思っているのか？学校に行くこと自体でそういう気持ちになるのか？家庭で勉強することもないと思っているのか？一人一人課題となっていることが違う。サポートを考えてほしい。」との意見があった。
- 「やりぬく子」に関する設問7～9の考察・改善案「体力を高める手立てを講じていく」について、「来校すると、外遊びをしている子が多い。体育的なカードに進んで取り組んでいることはとてもいいので、ぜひ継続してほしい。」「運動場も広いため、ぜひ、多くの子に遊んでほしい。」との意見があった。
- 「いじめ」に関する設問13・14の考察・改善案「子供たちが安心して生活ができ、自己有用感や充実感を感じられる学校生活づくりを行っていく」については、「子供どうし、悪口を言った言われたということは聞く。」「外国籍の子も増え、多様化している。差別がないようにして、一人一人の良さを引き出してほしい。」「ふわふわ言葉、チクチ

ク言葉と区別して学んで、大人になった時自分に自信があれば、跳ね返すことが出来るので、そういった力を身につけて行って欲しいと思います。」との意見があった。

3 学校関係者評価を受けて

学校関係者評価を基に、以下の点を重点として取り組み改善を図る。

	目指す子供の姿	指導の重点
(知)主体的に学ぶ子	話を聴き、前向きな態度で学習する子	○望ましい学習習慣の定着 ○学習の基礎基本の定着 ○自己調整力を育む校内研修の充実
(徳)みとめ合う子	自分や友達のよさを見つけることができる子	○温かく安心できる学級のよりよい人間関係作り ○自己肯定感を高める道徳教育の充実 ○「生活の約束」と温かな言葉遣いの徹底
(体)やりぬく子	めあてを立ててチャレンジする子	○目標をもって取り組む体育の授業や行事 ○心身の健康を育む教育の充実 ○安全・安心な減災・防災教育

○ 主体的に学ぶ子

① 望ましい学習習慣の定着のために

◎始業前、終業後にすべきことを掲示する。

◎「聴く」指導の徹底（体の向き、話の復唱）

② 学習の基礎基本の定着のために

◎反復練習の時間を5分間設定する。

・授業の中で：1～3年、家庭学習：4～6年

◎単元の終末等に学びを振り返る時間を設定し、教師はそれに対してフィードバックを行う。

○ みとめ合う子

① 温かく安心できる人間関係づくりのために

◎学期に1回程度、担任と児童の2者面談を行う。

◎「まんまるデー」を毎月2回程度行う。

② 自己肯定感を高めるために

◎さよならタイムで、「自分が頑張ったこと」を振り返る時間を設定する。

◎称揚の場や機会をつくる。

- ・『がんばったよ』学級掲示コーナーや朝会での「善行賞」

- ・各委員会の取り組み（例：「得意なこと発表会」）

② 「生活の約束」と温かな言葉遣いの徹底のために

◎「河輪っ子のくらし」は、4月に確認し、学年団ごとにきまりのレベルを設け、ステップを踏んで身に付けさせる。→達成度を生徒指導委員会で報告

◎『温かな言葉（ふわふわ言葉）』とは、どんな言葉なのか話し合い、教室に掲示する。

○ やりぬく子

① 目標をもって取り組むために

◎なわとびカード、マラソンカードに取り組む。

- ・運動委員会を中心としたイベントの企画

② 心身の健康を育む保健教育の充実のために

◎小中一貫のピアサポート活動に継続的に取り組む。

◎さわやかチェックの項目を工夫する。

- ・1学期に6年生が東陽中へピアサポートの見学に行く。
- ・2学期の学校保健委員会で実践する。
- ・3学期に5年生に引き継ぐ。

○ いじめ対応に関する学校の取組(追記)

① 未然防止

- ・「いのちについて考える」をテーマに、各学級のスローガンをつくる。
- ・構成的グループエンカウンターを取り入れ、仲間づくりをする。

② 思いやりの心を育む道德教育の充実

- ・「友情・信頼」「相互理解・寛容」をテーマにした道德授業の実施